

沖縄別院 宗祖降誕会

親鸞聖人のご誕生を祝い、ご法話に沸く



5月18日(日)午前10時より、沖縄別院本堂にて宗祖降誕会をお勤めしました。

宗祖降誕会とは、浄土真宗を開かれた親鸞聖人のお誕生日をお祝いする法要です。

親鸞聖人は京都伏見の日野の里にー73(承安3)年5月21日(旧暦4月ー日)、お生まれになりました。浄土真宗本願寺派では、明治7年以降、新暦の5月21日を宗祖降誕会とし



浄土真宗本願寺派
本願寺沖縄別院
(浦添本願寺)

発行人 中 岡 順 忍

〒901-2132
沖縄県浦添市伊祖5-10-1
電話 (098) 877-3276
ファックス (098) 877-4242
mail ameku2182@yahoo.co.jp



ご講師の松本師

て、本願寺をはじめ全国のお寺で法要が勤まっています。

法要が終わり、中岡順忍輪番の挨拶の後、「グッド・アンセスター」私たちがいかにしてよき祖先になれるか」を講題として、講師の松本紹圭師(武蔵野大学客員教授、カンファ・ツリー・ヴィレッジ統括プロデューサー)にご法話いただきました。

松本師には前日開催の「第一回実践運動推進研修会」でも講師を務めていただきました。ご法話では自らの経験談や、仏教として祖先を敬うことを深く見つめなおすお話をされ、多くの参加者が引き込まれるように聴き入っておられました。



多くのお参りがあった宗祖降誕会

法話後は皆さんとご講師も交えてお齋(昼食)をいただき、話に花を咲かせました。

沖縄別院では毎月、法要や常例法座などの行事がお勤まりになります。

ご興味のある方はぜひお寺にお運びください。

非戦平和。パネル展

非戦平和の誓いを次世代に

今年は太平洋戦争が終結して80年。沖縄では、日本で唯一の地上戦が行われ、一般住民を含む20万余りの方が無念の死を遂げられました。

しかしながら、今も世界では戦争や紛争により尊いいのちが傷つき失われています。そして、過去の歴史を教訓とすることなく、沖縄には広大な米軍基地が存在し、米軍人等による事件・事故など様々な問題が起り続けています。

生きとし生けるものすべてが、戦争のない安穏で平和に過ごせる社会



パネル展と上映の様子(沖縄別院納骨堂)

を築くためには、阿弥陀如来の智慧の光に照らされ、人間の自己中心的なあり方・根本的な愚かさを感じづかれ、武器によって世界の平和・全人類の幸福はもたらされないことを常に自覚し、自他共に心豊かに生きることのできる非戦平和への誓いを次の世代に伝えていかなければなりません。

そして、この誓いを通してより良い未来を創るために私たちに何ができるのかを、共に考え、実行していくことが必要です。

沖縄別院では、非戦平和をはじめめとする社会的課題への取り組みとして、6月13日(金)から7月4日(金)まで納骨堂内にて、パネル展と、映画『乙女たちの沖縄戦』白梅学徒の記録』を上映します。

ハイサイ!!

沖縄へようこそ



2月17日に兵庫教区出石組西方寺の皆さん、3月5日に滋賀教区親鸞聖人讃仰会の皆さん、12日には備後教区法味会の皆さんと、大阪教区実践運動研修会の皆さんが沖縄別院に参拝されました。

お念仏の声があふれるなか、沖縄の歴史・別院の沿革などを聞き、学び多き一日となったことを喜んでおられました。



左上) 兵庫教区出石組西方寺の皆さん
左下) 大阪教区実践運動研修会の皆さん



備後教区法味会の皆さん



滋賀教区親鸞聖人讃仰会の皆さん

沖縄別院では今後も皆さんのご参拝をお待ちしております。



くめじまふきようしよ
久米島布教所では4月27日(日)
の日曜学校に併催して「花まつり」
のお祝いをしました。
普段通りはいやっていた子ども
たちは、職員から「花まつりは仏
さまのお誕生日なんだよ」と説明
されると、丁寧に手を合わせてい
ました。そして、花御堂の誕生仏
にあまちゃ
にいつしよに甘茶をかけました。



きよう
お経をあげた後、子ども
たちは仏さまにお供えする
お花を生けました。昨年の
花まつり以来一年ぶりの生
け花に、はじめはぎこちな
かった子どもたちも、慣れ
てくると「もつと生きたい」
と言ってたくさんの花を生
け、仏さまにお供えしてい
ました。

久米島布教所 ＊花まつり

日曜学校の子どもたちが花御堂にお参り
たくさん生け花を仏さまにお供え



花まつり＊

お釈迦さまのご誕生を
祝う法要
美しい花御堂の誕生仏
に甘茶をかける



花御堂の釈迦誕生像

お釈迦さま
は、今から約
2500年前
にインドとネ
パールの国境
付近にあるル
ンビニーの地で生まれました。
ご誕生は4月8日とされて
おり、全国の寺院では、お釈迦さ
まの誕生日をお祝いし、み教えを
聴聞させていただく場として「灌
仏会(花まつり)」の法要が勤めら
れます。

今年、沖縄別院では4月13日
(日)、久米島布教所では4月27日
(日)に「花まつり」のお勤めをし、

さんばい
参拝者の皆様とお釈迦さまのご
誕生をお祝いしました。

お釈迦さまのご誕生

お釈迦さまは生まれてすぐに七
歩進み、「天上天下唯我独尊」と
言われ、その際、天から現れた龍(天
女)によって甘い水が注がれて産
湯にされたと伝えられています。

このお話にない、花まつりの
際にはお生まれのルンビニーの花
畑を模して花が咲きほこる花御堂
をつくり、生まれたばかりのお釈
迦さまの像を安置し、ご参拝の皆
さんで甘茶をおかけします。

別院本堂と納骨堂に花御堂

沖縄別院本堂の花御堂は、今年
も門信徒の大丸克子さんに華やか
に生けていただきました。

本堂でお勤めの後は花御堂を納
骨堂に設置。清明祭の時期でもあつ
たので、多くのご参拝者が甘茶を
かけてお参りされていました。

齋藤職員のご法話で、お釈迦さまのご誕生から
ご生涯について熱心に聴聞される皆さん



沖縄別院では毎年「花まつり」
をお勤めしています。毎年4月は
花まつりへお越しいただき、皆さ
んと一緒に、仏さまのお誕生日を
お祝いしましょう。

春季彼岸会、永代経法要 沖縄戦全戦没者追悼法要



お勤めのあとは中岡輪番
から、お彼岸の由来や、
お浄土についてのご法話
があった

ほうよう
日に「彼岸会法要、永代経法要」
をお勤めしています。「永代経法要」
は沖縄戦全戦没者追悼法要に永代納骨をさ
れている方を対象とした法要です。

今年の春分の日3月20日(木)。
前後3日間を含めた7日間、3月
17日～23日が春の彼岸会の期間で
した。
沖縄別院では春分の日・秋分の

ほんどう
は、沖縄別院本堂にて「春季彼岸
会法要」「春の永代経法要」そして
「沖縄戦全戦没者追悼法要」を併
修し、多くの方が参拝されました。
法要の前後には多くのご家族が納
骨堂にもお参りされていました。